

事業番号	07 04 10	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	NAGANO WINE醸造技術支援事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1-1 次世代産業創出		課・室	ものづくり振興課 日本酒・ワイン振興室		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出		E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H26 ~		

1 事業の概要

目指す姿	信州ワインバレー構想に基づき、既存ワイナリー及びワイナリー設立を目指す農業者等の醸造技術向上を支援することにより、高品質なNAGANO WINEの生産醸造体制を確保し、ワイン産地の形成促進を図る。					
現状(予算編成時)	平成25年度からワイン生産アカデミー事業が開始され、受講生が県内外から集まっている。ワイナリー設立を目標とする受講生の中には、既にワイン用ブドウの生産に取り組み、醸造技術の習得を希望する者もいる。また、新設ワイナリーが平成26年度には2件、平成27年度には5件(H27.12時点)設立され、今後も増加する見込み。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 ワイン醸造に関する技術支援は、県が提唱した信州ワインバレー構想に基づくものであり、県の関与は必要。				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイナリーでの研修受入:5人 ・支援件数(セミナー開催による技術習得支援件数、相談支援件数):50件 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H27事業実績		
						H27 (当初) H27 (決算) H28 (当初)
		里親ワイナリーによる醸造技術研修	補助	ワイナリーが「里親ワイナリー」となり、研修生を受入れ、醸造に関する知識・技術を習得する研修を実施	833	61
	醸造技術向上セミナーの開催	直接	ワイナリーの若手醸造技術者を対象に、醸造に関する技術情報や先進地の取組に係るセミナーを開催	76	0	76
	技術顧問によるアドバイス	直接	醸造技術支援に実績のある者を技術顧問とし、工業技術総合センターの相談支援機能を強化	1,851	1,112	1,763
	ぶどう仕込み試験の実施	直接	県果樹試験場で栽培した県内未普及品種のぶどうを工業技術総合センターで試験醸造し、評価	234	234	234
			合計	2,994	1,407	2,904

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算		2,666	2,994	2,904
	補正予算				
	合計(A)	0	2,666	2,994	2,904
	一般財源		2,666	2,894	2,864
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	100	40
	決算額(B)		2,120	1,407	
概算人件費	職員数(人)		0.33	0.33	0.33
	概算人件費(C)	0	2,725	2,731	2,731
概算事業費(B(A)+C)		0	4,845	4,138	2,731

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
ワイナリーでの研修受入件数	4	5	4	未達成	5件
支援件数	173	50	100	達成	-

目標に対する成果の状況	研修受入件数は研修予定者と受入先の折合が合わなかったことから目標に達しなかったものの、各種セミナーや相談は人気も高く予定どおりの人材育成や醸造技術の向上につながった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 セミナーや相談の開催時間場所などの設定に当たり受講者の意向に配慮することにより、ワイナリーの参加意欲を高め、より効果的な技術向上支援につなげる。また、成果目標を事業内容ごとに設定する。
--------------------	---